

2020 年度事業報告

自 2020 年 7 月 1 日 至 2021 年 6 月 30 日

【真宗保育理念】 「本願に生き、ともに育ちあう保育」

【総合テーマ】 「ともに生き ともに育ちあう保育を実践しよう」

【事業総括】

2020 年度は研修テーマ「まなぶ」のもと、保育現場における『真宗保育カリキュラム』の普及・活用を目指した。

残念ながら、長期化する新型コロナウイルス対応により、事業計画は大幅な修正となったが、以下の重点施策を軸に、「大切なことを見つけ続け、考え続け、実践し続ける」(『真宗保育カリキュラム vol. 3』P13) 歩みを展望する契機となった。

特に、2023 年の宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要については、宗派の青少幼年教化を担当する協会としてプロジェクトが発足した。自らの変化なしには素通りできない社会状況の中で、宗派諸機関（青少幼年センター等）、関係学校等と連携し、課題発信を行いながら関連事業の準備を継続する。

【重点施策】

(1) 『真宗保育カリキュラム』を基軸にした事業の展開

① 『真宗保育カリキュラム』の普及・活用

2018 年度以降の事業によって『真宗保育カリキュラム』に関する研修や各園の保育実践における使用例が増えてきた。2020 年度は新型コロナウイルス対応のため各種研修や有識者との対話の減少が懸念された。しかし、ZOOM を用いた「カリキュラム研修会」や「新任研修会」を実施できたことは評価できる。その結果、普段は研修に参加出来ない遠隔地の会員でも参加できたことは、カリキュラム普及ならびに真宗保育の確認という目的が達成できたことを示し、その点も評価できる。

② 普及・活用のための人材養成、実践体験の還元

『真宗保育カリキュラム』の目的である真宗保育のより一層の深化のためには、真宗保育について「語れる人」の誕生が課題である。「語れる人」の誕生、拡大は他の乳幼児教育・保育関係者との対話を可能とし、真宗保育が広く公開されていくことにもつながる。

そのためにも各種研修会は必須の機会となるのだが、上記のように 2020 年度は ZOOM を用いた研修会を実施した。その中でも座談会を行うことができたので、日々の保育実践を共有できたのは大きいだろう。人材養成のためには、系統的な研修会や研究会が不可欠であり、その機会提供と多くの参加呼びかけはこれからも必要である。

(2) 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要関連事業の準備期間にあわせた研修テーマ「まなぶ」への取り組み

基本認識の通り、昨年度発表した新研修テーマ「まなぶ」を、今年度も引き続き協会主催の研修に通底するテーマとし、さらに、各連区・支部に対しても同テーマでの研修開催を奨励した。

研修テーマ「まなぶ」と『真宗保育カリキュラム』vol.1～3のリンクや2021年全国真宗保育研修大会（大阪大会）での次期研修テーマ発表も踏まえて、協議を進めた。

① 慶讃法要関連事業推進のためのプロジェクトの始動

協会の組織拡充をめざす意味でも、人材発掘の機会としてプロジェクトを始動した。関連事業の推進においても、法要時期が各園の年度替わりと重なる状況から、記念事業の持ち方を検討するなど、現場の実践に即した課題への取り組みについて協議検討を行った。

② 第19回全国真宗保育研修大会（大阪会場）の開催準備

期 間：2021年7月3日（土）～4日（日）

会場となる大阪支部をはじめ、担当連区の近畿連区各支部を中心に開催準備を進めた。

③ 「こどものうた」普及に向けた取り組み

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要を機会に、こどものうた事業のまとめをおこなえるよう、準備を進めた。

第4期こどものうた事業は、研修テーマ「まなぶ」をもとに、シンガーソングライターのタテタカコ氏によって楽曲制作を行った。

協会発信の「こどものうた」が、日常的に歌い継がれるよう、引き続き加盟園や宗門の内外へひろく周知を図った。

（3）保育心理士会による保育心理士の活動支援の充実

① 保育心理士養成校の拡充

真宗大谷派学校連合会の幹事校である大谷大学をはじめ、宗派関係学校との連携を密にし、さらに保育心理分野について、情報共有や学術的な取り組みが深まるよう関係構築、土壌整備に取り組んだ。【（1種）同朋大学大学院、（2種）九州大谷短期大学、京都光華女子大学、同朋大学、飯田女子短期大学、東亜大学、九州産業大学、大谷大学、仁愛女子短期大学】

あわせて、保育心理士会業務の効率化への対応も検討した。

② 保育心理士資格取得講座のキャリアアップ研修認定

国における保育士等のキャリアアップ体系の構築の動きに際して、真宗保育の理念を基として、積極的に当資格の人員育成を推進するために、京都をはじめとし同講座を開催している都道府県での認定手続きを進め、全国的広がりを模索した。

【認定都道府県：福岡県、岐阜県、兵庫県、熊本県、鹿児島県、愛知県、京都府、宮崎県】

（4）広報・課題発信の拡充

宗派の宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要を機会における広報・課題発信の拡充を検討した。

『真宗保育』のデザイン一新する他、宗派の定期刊行物との連携など、さまざまな媒体を通しての広報を試行した。

また、新型コロナウイルス対応によって、主催事業の中止を余儀なくされた昨今の

状況を受け、担当部（広報部・研修部）が連携して、研修会や会議などでのオンライン環境の構築に着手した。協会ホームページを活用し、過去の視聴覚教材等の掘り起こしをするなど、自己研鑽や情報発信の一助となるよう引き続き検討する。

（５）真宗保育の現場の人材確保に向けた取り組みの拡充

保育現場の人材確保が年々難しくなる状況において、宗派関係学校に協力を呼びかけ、協会加盟園の周知を図るため、「加盟園就職支援ポスター（2021年度版）」制作した。

I 幼児教育、保育内容充実向上事業（公益目的事業）

I-1 調査研究事業

真宗保育は子どもたちだけではなく、保育者も成長させるものでなければならない。そのような保育となるために、真宗保育についての基礎的研究を行う。真宗保育の理念、実践方法などについて研究を引き続き行った。

また、この研究結果を頒布事業、研修、資格認定事業などに反映し、真宗保育の公共性・公開性を図った。

(1) 基礎研究

- ① 諸研究機関並びに学識経験者とともに真宗保育における課題、保育原理、カリキュラムについて学術的アプローチをおこない、保育、教育、子育てにかかわる人々への普及を促進することを目的に「真宗保育研究所会議」を引き続き開催した。
- ② 真宗大谷派学校連合会の幹事校（大谷大学・光華女子大学・同朋大学／保育者養成校）の教員を交えて、『真宗保育カリキュラム Vol.1.1～3』の学術的表現への展開を図った。
- ③ 『真宗保育カリキュラム』の一層の普及・深化への具体的方法を協会各部門と連携しながら考察していく。例えば、教材作成への提言・意見交換（研修部・出版部）、各園における『真宗保育カリキュラム』の使用法・具体的反応の収集と紹介（広報部）、各研修会への講師派遣（研修部）などの推進を図った。
- ④ 研修テーマである「まなぶ」について研究を進めた。具体的には経典、聖教などの言葉を用いながら学術的にアプローチすることにより、研修テーマをより重層的、多角的に学ぶ一助とする。後に協会全体に何らかの形で公表できるようつとめた。

(2) 臨床研究

- ① 臨床心理士会や学校心理学会などが学校現場で活躍し、かつ保育の現場に対応すべき人材の養成などを検討していることに鑑み、保育心理士の学問的根拠を明確にし、保育心理学会の設立を視野に入れた調査研究を実施する。その土壌養成のため「保育心理研究会」を開催した。

・第13回保育心理研究会

期 日：2021年1月24日（日）

開催形式：オンライン開催（ZOOM使用）

記念講演：「乳幼児の心の育ちと対話する保育実践」

講 師：加藤繁美氏（東京家政大学教授）

シンポジウム：「コロナ禍の中で心の発達を育てる対話的保育のあり方」

パネリスト：加藤繁美氏（東京家政大学教授）、牧野桂一氏（保育心理士会代表）、

脇淵徹映氏（保育心理士認定委員）

- ② 保育相談及び育成指導

研究事業、研修事業、認定事業で蓄積された技術や知識をもって、各保育施設における保護者への子育て相談及び保育者の育成指導を行った。

I-2 教材・書籍・研究誌頒布事業

研究事業、研修事業、認定事業の成果をもとに、保育内容の充実を図るための教材を、ホームページやパンフレット、研修での広報を活用して頒布に努める。

また、園児の絵画を募集し、御正忌報恩講期間中、真宗本廟（東本願寺）や京都駅地下ギャラリーに展示する園児絵画展を開催する。応募作品の一部で「しんしゅうこどもかれんだー」を発行し、市民に子どもたちの姿を伝える。

保育者の資質の向上に資する機関誌や書籍等を頒布し、子育てに関する情報提供を行う。

(1) 保育教材の頒布

① 各教材の頒布

既存教材については前年度程度の頒布を行う。

教材・物品名	価格	仕入値	仕入数	在庫
合掌人形 しんらんさま	550 円	320 円	500	500
うでわ念珠 青 子ども用	200 円	174 円		509
うでわ念珠 青 大人用	200 円	184 円		1,004
うでわ念珠 ピンク 子ども用	200 円	174 円		1,359
うでわ念珠 ピンク 大人用	200 円	184 円		1,188
白念珠	120 円	105 円	1,000	1,253
念珠袋	280 円	235 円	2,000	853
おつとめちょう	100 円	40 円		3,642
真宗保育のカリキュラム入門	530 円	240 円		356
八女ちょうちん	180 円	107 円	327	0
しんしゅうこどもかれんだー	270 円	238 円	6,000	0
真宗保育の源流をたずねて	200 円	186 円		830
真宗保育カリキュラム vol.1	1,500 円	1,827 円		19
真宗保育カリキュラム vol.2	1,000 円	859 円		623
真宗保育カリキュラム vol.3	1,000 円	575 円		1,157
こどものうた①「誕生」CD	500 円	388 円		199
こどものうた②「そだつ」CD	500 円	337 円		14

〈真宗保育ブックレットシリーズ〉

教材・物品名	価格	仕入値	仕入数	在庫
15. 「する」から「ある」へ —養育論の試み— (芹沢俊介)	350 円	125 円		1,468
16. 真宗保育をデザインするⅡ —カリキュラム・マネジメントの視座— (富岡量秀)	300 円	165 円		1,567
17. サガエさんの「講義ノート」—真宗保育編— (佐賀枝夏文)	250 円	—		145

(2) 新教材の発行

① 2021年版『しんしゅうこどもかれんだー』

発行日：2020年9月

発行部数：6,000部

内容：2019年度報恩講園児絵画展への出品作品から選ばれた絵画を用いた
カレンダー

価格：270円

【2021年版『しんしゅうこどもかれんだー』制作にかかる会議】

しんしゅうこどもかれんだー色校正会議 期 日：2020年9月7日(月)

【2022年版『しんしゅうこどもかれんだー』制作にかかる会議】

しんしゅうこどもかれんだー掲載絵画選定会議 期 日：2020年11月27日(金)

しんしゅうこどもかれんだートリミング会議 期 日：2021年4月2日(金)

しんしゅうこどもかれんだー色校正会議 期 日：2021年5月26日(水)

【出版部会】期 日：2021年6月2日(水)

開催形式：オンライン開催(ZOOM使用)

Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上事業（公益目的事業）

Ⅱ-1 研修事業

研修会においては、参加者の経験年数に応じ、新たな視点・視野を発見することにより、現場での保育実践に望めるよう研修内容をより深めていく。

また、第18回全国真宗保育研修大会(金沢)で新しい研修テーマ「まなぶ」を発表したことを受け、各支部での研修に向けて事例等を提示できるように協議・検討を。

「まなぶ」からさらに展開できるようなテーマを提示し、研修を通して学び、保育現場で実践が確かなものになるよう研鑽に努める。

(1) 研究会・研修会事業

① 全国真宗保育研修大会

2020年度は開催なし。

(第19回全国真宗保育研修大会(大阪)：2021年7月3日(土)～4日(日))

② 第64回仏教保育大学講座（真宗十派共催・真宗大谷派当番）及び事前学習会

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、今年度は中止した。

③ 新任研修会

各園の新任職員が園に従事してもつ戸惑いや疑問を通して、保育の新たな視点や仏教行事をとおして子どもたちに伝えようとする意義について学びを深めた。

対 象：1年目の保育者

期 間：2021年1月16日（土）

開催形式：オンライン開催（ZOOM使用）

テ ー マ：まなぶ

講 師：田村晃徳氏（真宗保育研究所長）

参加人数：18名

④ 主任・中堅保育者研修会（奉仕団）

保育を実践していくうえで、現場保育者の中心的存在となる主任・中堅保育者の位置づけは非常に重要である。親鸞聖人の開かれた真宗の教えを聞き、真宗保育の視座を確認し実践できるよう開催した。

対 象：主任・中堅保育者（保育経験5年以上）

期 間：2021年6月12日（土）

開催形式：オンライン開催（ZOOM使用）

講 師：佐賀枝夏文氏（大谷大学名誉教授）

テ ー マ：まなぶ

参加人数：29名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）

⑤ カリキュラム研修会

『真宗保育カリキュラム』の普及・活用のため、日々の保育現場で保育者が『カリキュラム』をテキストとして、どのように活用すべきか研修・協議することを目的として開催した。

対 象：保育者

期 日：2021年1月16日(土)

開催形式：ZOOMを使用したオンライン開催

テ ー マ：まなぶ

講 師：田村晃徳氏(真宗保育研究所長)

参加人数：45名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催(3ポイント付与)

⑥ 協会主催研修のシラバスの整備

協会主催の研修(新任研修会、仏教保育大学講座、主任・中堅保育者研修会、保育心理士、カリキュラム研修会)のシラバスの作成を進め、保育者の経験年数に応じた研修の内容を充実させるよう検討を進めた。

⑦ 協会主催研修の「キャリアアップ研修」の認定取得

昨年度から各都道府県ですすめられている「保育士等キャリアアップ研修」認定に関し、協会主催研修のシラバスを活用し認定取得をめざした。また、先行して、将来、受講証明が可能となるよう、各研修の参加者に受講証を発行した。

【研修部会】期 日：2020年7月28日(火)、9月3日(木)・12月21日(月)

2021年5月10日(月)、6月9日(水)・6月15日(火)

開催形式：オンライン開催(ZOOM使用)

Ⅱ-2 資格認定事業

保育心理士の資格認定、フォローアップに関する事業を行う。

保育心理士が学びの対象としているのは主に、全体の6%ともいわれる、いわゆる「気になる子どもたち」であるが、学びを通して、広く園児全体を見渡せる眼を持つことを目指し、より専門的な保育者の資質向上に努めている。

国や地方自治体とも連携を取りながら、保育心理士資格を拡充し、保育心理士空白県の早期解消を目指した。

また、2013年度から2種資格に有効期限を設けたことに伴い、引き続き1種資格への誘導を促進する。あわせて年会費徴収の向上を目指す。

保育心理士資格取得講座においては、2017年度より開始した保育士等キャリアアップ研修の認定取得に継続して取り組む。

【保育心理士認定者数】 一種：3,149名、二種：669名、賛助会員：1名

【保育心理士養成課程（一種）設置校】 同朋大学大学院

【保育心理士養成課程（二種）設置校】 九州大谷短期大学、京都光華女子大学、同朋大学、飯田女子短期大学、東亜大学、大谷大学、九州産業大学、仁愛女子短期大学・NPO法人「子どもと保育研究所 ぷろほ」

(1) 保育心理士資格取得講座

【本部主催分】

① 名古屋会場

《第1・2日程》2020年7月18日（土）～19日（日）

《第3・4日程》2020年9月5日（土）～6日（日）

《修了式日程》2020年10月10日（土）

第1・2日程については、同朋大学にて開催。

第3・4日程・修了式日程については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を鑑み、ZOOMを使用したオンライン開催とした。

※京都会場・九州会場・東京会場は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、今年度は中止した。

(2) 保育心理士フォローアップ講座

5年の期限がある保育心理士資格の更新のためにフォローアップ講座を開催する。講座開催地域を広げるため、エリア、連区、支部が主催して行う。

(3) エリア、連区、支部研修会での資格取得講座の開催

保育心理士資格取得講座の全国展開のため、エリア、連区、支部より申請があった場合には、申請を受理し、エリア、連区、支部が主催となって開催した。

(4) 「保育心理士会賛助会員」の募集

保育心理士資格の更なる普及と、多くの方々の理解を得るために賛助会員を募った。

保育心理士会賛助会員・賛助会員年会費

認定種別	年会費	対象者	加入条件
一種会員	3,000円		
二種会員	3,000円		
賛助会員（個人・法人）	3,000円	設置者	保育心理概論の講義受講で入会可

(5) その他

① 認定に関する諸会議

【保育心理士認定委員会】

期 日：2021年3月2日（火）

会 場：真宗大谷派宗務所

【保育心理士会集会】第13回保育心理研究会と併催

期 日：2021年1月24日（日）

開催形式：オンライン開催（ZOOM使用）

【保育心理士講師集会】

今年度は開催なし。

【保育心理士会幹事会】

期 日：2021年2月24日（水）・4月8日（木）、5月21日（金）

開催形式：オンライン開催（ZOOM使用）

【エリアマネージャー会議】

期 日：2020年12月19日（土）

開催形式：オンライン開催（ZOOM使用）

② 保育心理士（1種・2種）養成校との協議会

今年度は開催なし。

Ⅲ 啓発・広報事業（公益目的事業）

保育者、保護者等子育てにかかわる人、団体等に情報を発信し、子育て支援の一端を荷う。当協会の活動を一般社会に公開し、研修事業等への参加を呼び掛けるとともに、子育てや心の課題に関する情報を提供した。

(1) 機関誌等の配布

- ① 月刊誌「真宗保育」第 455～466 号を頒布する。
「巻頭コラム」は、協会内外から「真宗保育」についての意見が発信されるコーナーとした。
- ② 機関誌「ほいくしんり」（協会編、エイデル研究所発行）を発行した。

(2) 協会ウェブサイト ホームページの運営

協会ウェブサイトのシステム不具合により、専門業者を交えての暫定的な変更を行った。システムの変更に併せて、スマートフォン対応を可能とした。今後、ウェブサイトにある各コンテンツの見直し、刷新を行いながら、情報発信を続けていく。

また、リアルタイムで情報更新を行い、各支部や加盟園の活動報告を掲載するなど協会全体で情報を共有できるようシステムを構築する。

(3) 園児絵画展

加盟園での情操教育の基礎となっている真宗保育に触れていただくことを願いとして、園児の絵画を公募し、すべての作品を御正忌報恩講期間にあわせて、京都駅公益地下ストリートギャラリーや真宗本廟（東本願寺）に展示し、不特定多数の方々にご覧いただいた。

期 間：2020 年 11 月 14 日（土）～11 月 28 日（土）

会 場：真宗本廟（東本願寺）御影堂北側高廊下、しんらん交流館、
および京都駅公益地下ストリートギャラリー

対 象：全国加盟園及び京都市内の幼稚園・保育園・認定こども園の園児

(4) “こどものうた” 事業

研修テーマを題材として、発信してきた「こどものうた」の数々が、日常的に歌い継がれるよう、加盟園や宗門の内外へひろく周知を図った。

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要を機会として、2013 年度より 1 期 2 年間、5 期 10 年継続の計画として展開されてきたこどものうた事業のまとめをおこなえるよう、準備を進めた。

今年度第 4 期については、研修テーマ「まなぶ」のもと、シンガーソングライターのタテタカコ氏に楽曲制作を委託し、制作した。

(5) 広報・課題発信の拡充

協会の広報拡充として『真宗保育』のデザイナー一新した他、宗派の定期刊行物との連携や、オンラインによる広報展開など、さまざまな媒体を通しての広報を試行した。

(6) 「子どもの森づくり運動」への参加

NPO 法人子どもの森づくり推進ネットワーク主催による、就学前児童に向けた『自然体験学習プログラム』普及への協力団体として希望園が参画し、自然保護、環境学習の意識高揚に努めた。(現在、8ヶ園の加盟園が参加している)

【広報出版部会】期 日：2020年11月18日(水)、12月15日(火)

2021年6月2日(水)

開催形式：オンライン開催(ZOOM使用)

IV 加盟園交流事業（相互扶助等事業）

「子ども・子育て支援新制度」についての情報交換、施行にともなう協会加盟園の動向についての把握に努めた。全国支部よりご参加いただく設置者・園長・後継者との情報交換や交流を図った。

(1) 人材発掘のための取り組み

研修会等において協会の活動内容を周知し、協力を要請した。

(2) 設置者・園長等研修会

2020年度は開催なし。

(3) 加盟園加入促進

真宗大谷派関係寺院が運営する協会未加盟の幼稚園、保育園、認定こども園に働きかけ、加盟園の増加に努めた。

(4) 各種保育団体との渉外

各種会合、記念式典等への参加を通じて、各種保育団体との連携、情報交換に努めた。

(5) 「青少幼年センター」「しんらん交流館」事業との連携

宗派の青少幼年教化に関する施策事業と連携、共同事業などの方向性等の情報収集に努めた。

(6) 会報「大谷保育」の発行

会報「大谷保育」を毎月1回発行し、全加盟園に配布する。協会内の各種研修会のお知らせ等を掲載した。

(7) 「加盟園就職支援ポスター」の発行及び求人情報について

幼児教諭や保育士を目指す宗派養成校の学生に向け、協会の加盟園周知他、就職先の選択肢の一つになることを願い、加盟園就職支援ポスター制作を進めた。

(8) その他事業

① 表彰

ア. 保育功労者表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

イ. 永年勤続表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

ウ. 感謝状

会員の園職員が退職するときは、各園（各支部長経由）より報告を受け、感謝状を送った。

エ. 祝電・弔電

加盟園が記念行事等を開催した場合は祝電を送る。また、加盟園の設置者・園長などの功労者が逝去された場合は、弔電を送るとともに加盟園へ伝達した。（各支部長経由）

② 入園式・卒園式への祝辞

各加盟園の入園式・卒園式へ理事長名の祝辞を送った。

③ 各園での記念式典への感謝状

園設立周年行事などに際して、園や協会に対してご功績ある方々に協会名で感謝状を送った。

V 管理部門

協会の総務（経理・労務・人事等）を遂行し、組織運営の充実を図り運営の安定と活動を支えるとともに、公益社団法人として公開すべき情報（電子公告）をWEB中心に適時公開した。

(1) 管理業務の遂行

物品販売作業の軽減（特に請求書・領収書発行作業、在庫管理）を図るため、販売管理システムの活用を図った。

(2) 協会ICT環境の維持、運営

公益法人として公開すべき協会の情報を（電子公告等）公開した。また、協会のICTインフラの維持運営を行った。

また、協会保有データの保全と機密性を維持するとともに適時改善した。

(3) 採用情報提供システムの施行

保育士、幼稚園教諭等施設職員不足に対応するために、当協会の全国組織の特徴を生かし、Uターン就職及び真宗保育を望む学生に採用情報を提供する仕組みを試行した。

(4) 協会をPRするパンフレット等の作成

幼児教育・保育団体としての当協会の活動を広くPRするため、「公益社団法人大谷保育協会要覧（仮称）」（パンフレット）の作成を行うべく検討を進めた。

(5) 加盟園情報の収集、管理

会費納入手続き、入会手続きの機会を活用し正確な加盟園情報の収集、管理を行った。

・加盟園名簿の確認作業実施 /期 日：2020年10月5日（月）

(6) 正副理事長会に関する事項

期 日：2021年2月2日（火）、2021年4月5日（月）

開催形式：オンライン開催（ZOOM使用）

(7) 常務理事会に関する事項

期 日：◎2020年12月9日（水）、2021年2月19日（金）、4月15日（木）
5月6日（木）

※◎以外は、すべてオンライン開催（ZOOM使用）

(8) 役員会等に関する事項

① 理事会に関する事項

ア. 第21回（事業報告・決算承認）

※理事会の決議省略の方法による開催

イ. 第22回（役員改選）

期日：2020年9月15日（火）／会場：しんらん交流館及びWEB会議

ウ. 第23回（次年度予算・事業計画）

期日：2021年5月19日（水）／会場：真宗大谷派宗務所及びWEB会議

第9回総会

期日：2020年9月15日（火）／会場：しんらん交流館及びWEB会議

(9) 諸会議に関する事項

①正副部所長会

期 日：2021年4月15日（木）

開催形式：オンライン開催（ZOOM使用）

②宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年立教開宗八百年慶讃法要関連事業プロジェクト検討会議

期 日：2020年12月28日（月）

開催形式：オンライン開催（ZOOM使用）

③宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年立教開宗八百年慶讃法要関連事業プロジェクト会議

期 日：2021年4月20日（火）

会 場：真宗大谷派宗務所及びオンライン開催（ZOOM使用）